

中央区の現状、特性と課題

まちづくりの方針

魅力的で活力あふれる拠点のまち

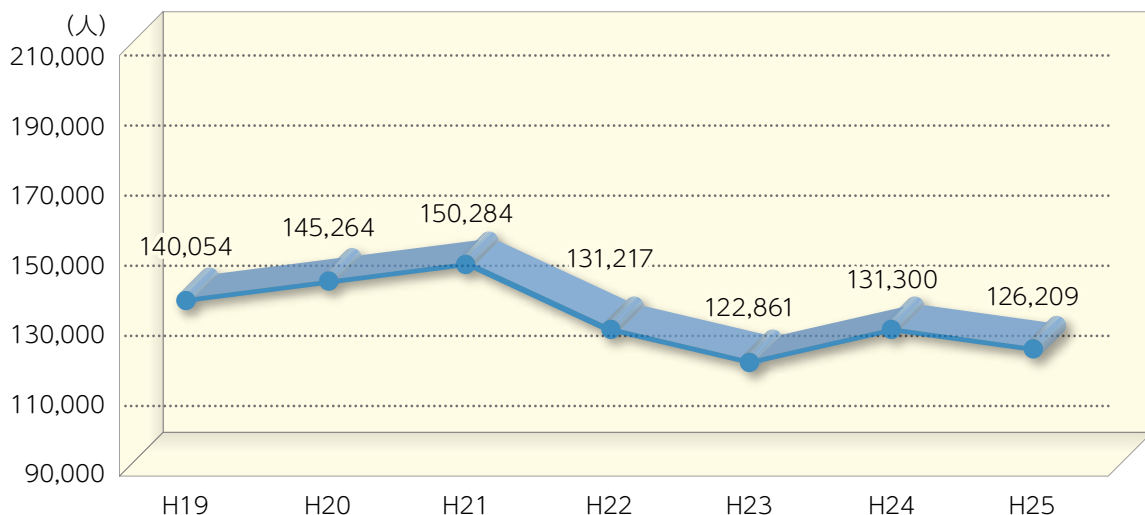


1 商店街

現状
特性と
課題

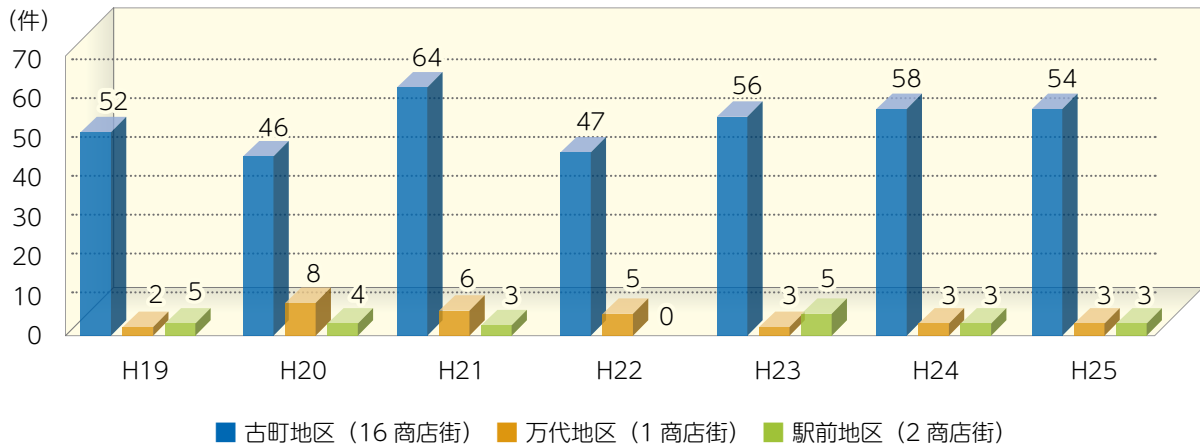
- 中央区は、本市の経済をけん引する役割を担っています。その中核となる区内の商店街において歩行者通行量が減少するとともに、空き店舗が多く見られるため、地域の魅力を活かした空き店舗活用やにぎわいを創出する集客イベントの取組みを支援するなど、商店街の活性化を推進していく必要があります。

歩行者通行量（古町・万代・新潟駅）



資料：新潟市商店街連盟「商店街歩行者通行量調査」

地区別 商店街空き店舗数



資料：新潟市「商店街団体聞き取り調査」

まちづくりの方針

<魅力あふれる商店街の形成>

- きめ細かなサービスの提供、オンラインワン商品の開発・販売、新たな魅力ある店舗の誘致、歴史・文化を活用した取組み、イベントなど商店街の活性化に向けた取組みを支援することにより、商店街の魅力を高め、愛着と誇りを持てる商店街の形成に努めます。



古町商店街

2 まちなか回遊

現状 特性と課題

- 中央区の中心市街地には、江戸時代の町割りに始まる街区や湊町の風情を残す建造物などが多く残っている地区、大規模な商業施設が集積し、公共交通ターミナルの機能を持つ地区、また新潟駅連続立体交差事業に伴う周辺整備が進む地区などがあり多くの人が行き来しています。引き続き、利便性、回遊性の向上に努め、交流人口の増加を図る取組みが必要になります。
- 本市は政令指定都市として国際的にも開かれた都市ですが、中心市街地における公共施設や文化施設を外国語で案内する機能が不足しているため、外国人来訪者の利便性の向上や中央区の魅力のアピールを目的とした取組みが必要です。



中央区の中心市街地

まちづくりの方針

<まちなかの回遊性を活かしたにぎわい創出>

- 公共交通の再構築により、まちなかの移動や交流を容易にすることで、回遊性を向上させ、にぎわいや活力の創出に努めます。
- 商店街の新たなイメージづくりに向けた環境整備を支援し、多くの人が行ってみたい、歩いてみたいまち(商店街)を目指します。
- 萬代橋周辺の道路や河川などの公共空間を活用し、まちなかで楽しめる空間をつくとともに、信濃川の自然や水辺を活かした景観づくりや環境整備など、官民連携による地域のにぎわい創出と活性化に向けた施策を展開し、萬代橋周辺ならではの魅力的なまちなか空間の形成を目指します。
- 「古町」「西大畑」の両地区は、湊町新潟の人の交流を象徴する固有の歴史・文化資産が残っており、その魅力や価値を高めながら後世に継承できるよう保全に取り組むとともに、楽しみながら回遊できる都市空間を創出します。



けやき通り 光のページェント



萬代橋誕生祭



砂丘館



新潟カトリック教会

- 外国人来訪者の利便性の向上や中央区の魅力のアピールのために、外国語表記を含む案内サインの充実に取り組みます。



案内サイン

- 中央区において定着している「まち歩き」を関係団体と連携するなどさらに進化させ、地域の魅力の発掘及び区内外への発信に努めます。



まち歩き「えんでこ」マップ



シティガイドの説明

3 都市機能

現状 特性と 課題

- まちなかでは、歩行者と自転車のいずれの通行量も多く歩行者の安全を第一として、歩行者と自転車が安心安全に通行できる道路空間の再構築が必要です。
- まちなかの歩道では、路上駐輪が多く歩行者通行の支障になっているため、駐輪場の確保が課題となっています。
- 美しいまちなみを形成し、都市景観の向上を図るとともに、歩行空間のバリアフリー化が必要です。
- 新潟駅周辺地区においては、市街地が鉄道によって分断され、鉄道を横断する交通の混雑や踏切の危険性などの問題があります。「日本海拠点都市」を目指す本市の都市機能強化に向け、駅と鉄道の高架化など新潟駅周辺整備の着実な推進が重要となっています。



新潟駅付近

- BRT（※）開業とあわせて、バス路線の再編を一体的に行う新バスシステムの構築などにより、中央区の各地域において、誰もが移動しやすい交通環境にすることが必要です。

※本市が目指す新たな交通システム「BRT（Bus Rapid Transit）」は、従来の約2台分の定員がある連節バスなどで、より早く、より正確な時間に、より多くの人を運ぶ次世代のバスシステムのことです。

- 豊かな自然を残す鳥屋野潟に隣接し、高速交通網の結節点に位置する鳥屋野潟南部地区約270haにおいて、環日本海地域の拠点に相応しい環境の優れたアメニティ空間の創出や新しい都市機能の導入が必要です。
- 健康づくりやレジャーに最適な歩行者向き、自転車向きの専用コースが整備されつつあるものの、利用者からコースが分かりづらく歩行者と自転車が錯綜し危険などの指摘があることから、これを解決するとともに、健幸都市（※）の実現に向けて、更なる価値を増していくことが必要です。

※健幸都市とは、「健康」＋「幸福」の造語で、身体面での健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、安心安全で豊かな生活を送れるまちのことです。

まち
づくりの
方針

<安全に通行できる道路空間の再構築>

- まちなかにおいて、歩行者と自転車が安心安全に通行できる道路空間を整備するとともに、駐輪場の確保に努めます。



自転車通行帯



東堀前通自転車等駐車場

- バリアフリー化を推進し安全な歩行空間を確保するとともに、都市景観及び都市防災機能の向上に努めます。

<交通基盤の強化>

- 「日本海拠点都市・新潟」における陸の玄関口としてふさわしい都市機能の強化に向け、新潟駅の高架化など駅周辺地区の整備を進めるとともに主要道路の整備を推進し、道路ネットワークの強化を図ります。



連続立体交差事業のイメージ

- 区民が自動車へ過度な依存をせず、わかりやすく移動できるような交通環境の実現を目指し、バス路線再編などにより持続可能な公共交通ネットワークを構築する取組みを進めます。また、再編後のバス路線とJR、及びタクシーなど他の交通機関との連携について検討します。



路線バス



タクシー

連携



JR

<鳥屋野潟南部の拠点形成>

- 鳥屋野潟南部を土地利用計画毎にゾーニングし、県立鳥屋野潟スポーツ公園などの整備により、新たな拠点を形成します。

<道路空間の健幸プラットホームの構築>

- ぐるりん新潟島（新潟島一周自転車道）の利便性向上を図るとともに、区民をはじめ、市外・県外からの方々が気持ち良く街に出かけ、新潟を堪能して気軽に健康づくりができる環境整備に努めます。



ぐるりん新潟島(新潟島一周自転車道)



距離標 (例)

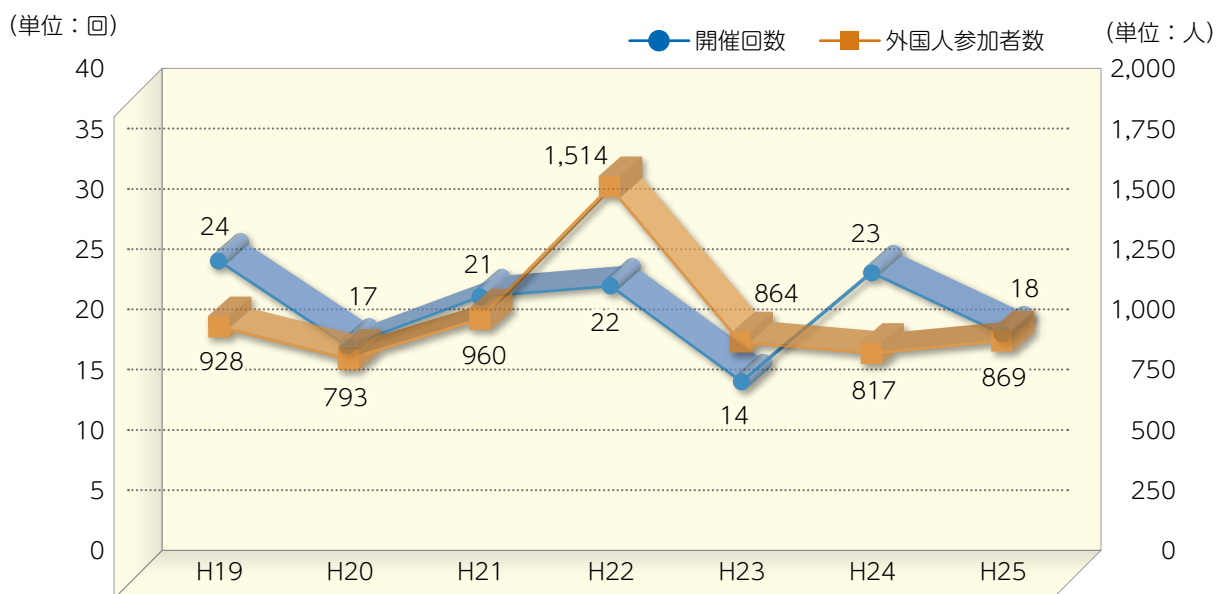


4 交流人口

現状 特性と 課題

- 本市は大規模な国際会議や学会、展示会などが開催される都市であり、その多くが開催される中央区には国内外から多くの参加者が訪れ、滞在します。外国人を含めた来訪者が心地よく催しに参加でき、滞在を楽しめる環境整備と、おもてなしの雰囲気づくりが必要です。
- 中央区には、リューとぴあ、ビッグスワン、アイスアリーナ、マリニピア日本海等、県や市を代表する文化・スポーツ・観光施設があり、市内外から多くの人々が集い、にぎわっています。今後、イベント内容の充実、施設間の連携、市内外へのPRにより、さらなる交流人口の拡大を図る必要があります。
- 西港区周辺部の交流拠点化を推進し、「湊町新潟」にふさわしいにぎわいを創出するため、万代島旧水揚場跡地において市民に開かれた利活用が求められています。

本市の国際会議開催回数と外国人参加者数



資料：日本政府観光局 (JNTO) 国際会議統計

<文化・スポーツ、観光の充実>

- 江戸時代から続く町割りや花柳界、歴史的な建造物など中央区の魅力を市内外の観光客にまち歩きを通して伝えるとともに、信濃川をめぐる観光水上バスを活用した観光客の誘致を図り交流人口の増加を目指します。
- 中央区の文化・スポーツ資源や特色ある観光資源を活用しながら、大規模な文化・スポーツイベント等を誘致することのできるまちを目指します。
- 万代島旧水揚場跡地について、市民提言や周辺施設との連携を考慮しつつ、県や経済界など関係団体と意見交換しながら今後の活用を図っていきます。
- 古町地区の「マンガの家」、万代地区の「マンガ・アニメ情報館」を中心に「マンガ・アニメ」が身近にあるまちを目指して、「にいがたアニメ・マンガフェスティバル」などのイベントと連携して関連事業の内容を一層拡充し、市内外からの誘客を図ります。



ビッグスワン Jリーグ公式戦



マリニピア日本海 イルカショー



新潟シティマラソン



ラ・フォル・ジュルネ新潟「熱狂の日」音楽祭